

第5章 計画段階環境配慮書における調査、予測及び評価の結果

計画段階配慮事項に関する調査・予測・評価の手法は、概ねのルートや基本的な道路構造等を検討する段階における、事業計画の熟度や検討スケールに応じた環境配慮を適切に実施できる手法としました。調査は、複数案が含まれるエリア全体を広域的に調査できる既存資料に基づき、計画段階における環境配慮が必要な検討対象（大気質や騒音では市街地・集落、動物であれば重要な種の生息地など）の位置・分布を把握する方法とし、把握できたものについて、表 5.2に示します。また、予測は、環境の状況の変化を把握する方法としました。評価は、環境影響の度を整理、比較する方法としました。

複数案のルート選定にあたっては、解決すべき課題から求められる政策目標の達成度について、経済面、社会面、環境面などを総合的に比較検討し、表 5.1及び図 5.1に示すとおり、都市計画変更ルートのバイパス案と、現道拡幅の比較案 1 及び、現都市計画ルートの比較案 2 を選定しました。

選定された計画段階配慮事項のルート毎の影響の度は、表 5.3に示すとおりです。自動車の走行による大気質、騒音及び道路の存在による人と自然との触れ合いの活動の場は、【案】バイパス案（山側ルート）及び【比較案 2】現都市計画ルートは、影響を与える可能性は小さいものと評価し、【比較案 1】現道拡幅は、影響を与える可能性があるものと評価しました。また、道路の存在による動物、植物、生態系、景観は、いずれのルートも影響を与える可能性は小さいものと評価し、道路の存在による水象（地下水）は、いずれのルートもルートの位置・構造によっては、影響を与える可能性があるものと評価しました。

そこで、具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階では、できる限り市街地・集落、源泉、重要な種の生息地等、重要な種・群落の生育地等、生態系の保全上重要であって、まとめて存在する自然環境、景観資源、人と自然との触れ合いの活動の場を避けて計画します。

なお、各検討対象について、回避が困難又は必ずしも十分に低減されないおそれのある場合には、今後の環境影響評価の中で調査、予測、評価を行い、必要に応じて適切な環境保全措置を検討します。

表 5.1 ルートの概要

	【案】バイパス案 （山側ルート）	【比較案 1】 現道拡幅	【比較案 2】 現都市計画ルート
ルートの概要	現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案	現道 2 車線を拡幅（車線数増加）	現都市計画ルートを基にバイパス整備

表 5.2 計画段階配慮事項に関する調査、予測、評価の手法

計画段階配慮事項	検討対象	調査手法	予測手法	評価手法
自動車の走行による大気質 自動車の走行による騒音	集落・市街地 ^{※1} の位置	既存資料	集落・市街地等の位置と複数案との位置関係を把握	複数案ごとに回避又は通過の状況を整理・比較
道路の存在による水象(地下水)	重要な箇所 ・源泉 ^{※2}	既存資料	重要な箇所(源泉)と複数案との位置関係を把握	複数案ごとに回避又は通過の状況を整理・比較
道路の存在による動物	重要な種の生息地等 ・重要な動物種 ^{※3} ・天然記念物 ^{※4} ・鳥獣保護区 ^{※5}	既存資料	重要な種の生息地等の位置と複数案との位置関係を把握	複数案ごとに回避又は通過、分断の状況を整理・比較
道路の存在による植物	重要な種・群落の生育地等 ・重要な植物群落 ^{※6} ・巨樹・巨木林 ^{※7} ・天然記念物 ^{※4}	既存資料	重要な種・群落の生育地等の位置と複数案との位置関係を把握	複数案ごとに回避又は通過、分断の状況を整理・比較
道路の存在による生態系	生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境 ・自然公園 ^{※8} ・重要な湿地 ^{※9}	既存資料	生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境との位置関係を把握	複数案ごとに回避又は通過、分断の状況を整理・比較
道路の存在による景観	重要な箇所 ・景観資源 ^{※10}	既存資料	重要な箇所(景観資源)の位置と複数案との位置関係を把握	複数案ごとに回避又は通過、分断の状況を整理・比較
道路の存在による人と自然との触れ合いの活動の場	重要な箇所 ・人と自然との触れ合いの活動の場 ^{※11}	既存資料	重要な箇所(人と自然との触れ合いの活動の場)の位置と複数案との位置関係を把握	複数案ごとに回避又は通過、分断の状況を整理・比較

注：重要な植物群落、巨樹・巨木林、天然記念物は、重要な植物種として図 5.1 に表す。

※1：集落・市街地の既存資料：土地利用現況図及び用途地域（工業専用地域を除く）を基本に地形図等からの読み取りによるものを補足して設定。

※2：源泉の既存資料：「源泉の名称及び住所の一覧」（平成 25 年 10 月 諏訪保健福祉事務所食品・生活衛生係）

※3：重要な動物種の既存資料：「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 長野県」（昭和 56 年 環境庁）、「支部報「いわすずめ」No.96(2004 年 5-6 月号）」（平成 16 年 日本野鳥の会諏訪支部）、「ふるさといきものの里 100 選」（平成元年 環境庁自然保護局）

※4：天然記念物の既存資料：「信州の文化財」（平成 25 年 3 月 財団法人八十二文化財団）

※5：鳥獣保護区の既存資料：「長野県鳥獣保護区等位置図」（平成 25 年度 長野県林務部森林づくり推進課）

※6：重要な植物群落の既存資料：「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 長野県」（昭和 56 年 環境庁）、「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」（平成元年 環境庁）、「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年 環境庁）、「信州の文化財」（平成 25 年 3 月 財団法人八十二文化財団）

※7：巨樹・巨木林の既存資料：「第 4 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」（平成 7 年 環境庁）

※8：自然公園の既存資料：「自然公園等指定状況一覧」（平成 27 年 3 月 長野県自然保護課）

※9：重要な湿地の既存資料：「日本の重要湿地 500」（平成 24 年 9 月 環境省・インターネット自然研究所）

※10：景観資源の既存資料：「第 3 回自然環境保全基礎調査 長野県自然環境情報図」（平成元年 環境庁）、「自然公園等指定状況一覧」（平成 27 年 3 月 長野県自然保護課）、「日本の都市公園 100 選」（平成元年 日本公園緑地協会）、「新日本夜景 100 選」（平成 16 年 新日本三大夜景・夜景 100 選事務局）、「日本の渚・百選」（平成 8 年 国土交通省）

※11：人と自然との触れ合いの活動の場の既存資料：「全国観光情報データベース」（平成 27 年 8 月 社団法人日本観光振興協会）、「各市町観光パンフレット」（平成 27 年 8 月 岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町）、「諏訪湖一周ジョギングロード」（平成 24 年 9 月 長野県健康福祉部健康長寿課）

表 5.3 計画段階配慮事項に係る予測・評価の結果

環境要素	【案】バイパス案 (山側ルート)	【比較案1】 現道拡幅	【比較案2】 現都市計画ルート
大気質	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、集落・市街地を概ね回避していると予測します。大気質・騒音に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、集落・市街地を通過しており、大気質・騒音に影響を与える可能性があるものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、一部集落・市街地を通過するため、【バイパス案】より大気質・騒音に影響を与える可能性は大きいものと評価します。
騒音			
水象 (地下水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、源泉施設を概ね回避していると予測します。但し、ルートの位置・構造によっては、水象（地下水）に影響を与える可能性があるものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、現道を拡幅する計画であり、源泉施設を回避していると予測します。但し、ルートの位置・構造によっては、水象（地下水）に影響を与える可能性があるものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、源泉施設を概ね回避していると予測します。但し、ルートの位置・構造によっては、水象（地下水）に影響を与える可能性があるものと評価します。
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、重要な種の生息地等を概ね回避していると予測します。動物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 ・また、【比較案2】より山側へ回避していることで構造形式による更なる影響低減の検討が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、重要な種の生息地等を回避していると予測します。動物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、重要な種の生息地等を概ね回避していると予測します。動物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。
植物	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、重要な種・群落の生育地等を概ね回避していると予測します。植物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 ・また、【比較案2】より山側へ回避していることで構造形式による更なる影響低減の検討が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、重要な種・群落の生育地等を回避していると予測します。植物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、重要な種・群落の生育地等を概ね回避していると予測します。植物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。
生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、まとまって存在する自然環境を回避していると予測します。生態系に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、まとまって存在する自然環境を回避していると予測します。生態系に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、まとまって存在する自然環境を回避していると予測します。生態系に影響を与える可能性は小さいものと評価します。
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、景観資源を概ね回避していると予測します。景観に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 ・また、【比較案2】より山側へ回避していることで構造形式による更なる影響低減の検討が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、景観資源を回避していると予測します。景観に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、景観資源を概ね回避していると予測します。景観に影響を与える可能性は小さいものと評価します。
人と自然との 触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、人と自然との触れ合いの活動の場を概ね回避していると予測します。人と自然との触れ合いの活動の場に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、人と自然との触れ合いの活動の場を通過していると予測します。人と自然との触れ合いの活動の場に影響を与える可能性があるものと評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは、人と自然との触れ合いの活動の場を概ね回避していると予測します。人と自然との触れ合いの活動の場に影響を与える可能性は小さいものと評価します。

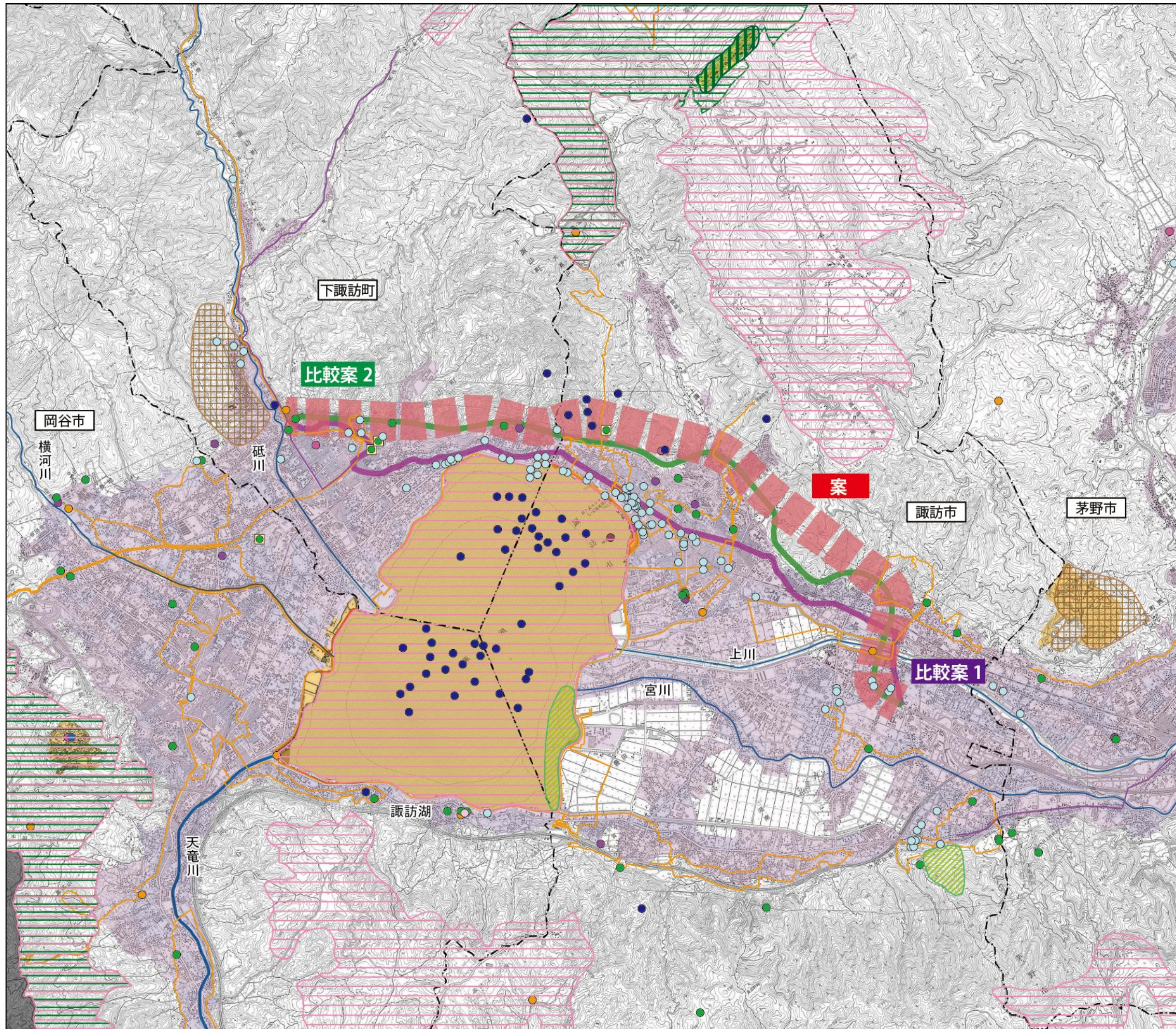


図 5.1 ルートの概要及び計画段階配慮事項の調査結果

記号	名称
	集落・市街地
	鳥獣保護区
	重要な動物種(重要な種の生息地)
	重要な動物種(天然記念物)
	重要な植物種(重要な植物群落)
	重要な植物種(巨樹・巨木林)
	重要な植物種(天然記念物)
	自然公園
	重要な湿地
	景観資源
	源泉
	人と自然との触れ合いの活動の場(公園等)
	人と自然との触れ合いの活動の場(散策路等)
	人と自然との触れ合いの活動の場(御柱祭)

出典：「長野県鳥獣保護区等位置図」
 (平成25年度 長野県林務部森林づくり推進課)
 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布図 長野県」
 (昭和56年 環境庁)
 「支部報「いわずめ」No.96(2004年5-6月号)」
 (平成16年 日本野鳥の会諏訪支部)
 「ふるさといきもの里100選」
 (平成元年 環境庁自然保護局)
 「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」
 (平成元年 環境庁)
 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」
 (平成12年 環境庁)
 「信州の文化財」(平成25年3月 財団法人八十二文化財団)
 「第4回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」
 (平成7年 環境庁)
 「自然公園等指定状況一覧」
 (平成27年3月 長野県自然環境保護課)
 「日本の重要湿地500」
 (平成24年9月 環境省 インターネット自然研究所)
 「日本の都市公園100選」(平成元年 日本公園緑地協会)
 「新日本夜景100選」
 (平成16年 新日本三大夜景・夜景100選事務局)
 「日本の渚・百選」(平成8年 国土交通省)
 「温泉源泉の名称及び住所の一覧」
 (平成25年10月 諏訪保健福祉事務所 食品・生活衛生課生活衛生係)
 「全国観光情報データベース」(平成27年8月 社団法人日本観光振興協会)
 「各市町村観光パンフレット」(平成27年8月 岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町)
 「諏訪湖一周ジョギングロード」(平成24年9月 長野県健康福祉部健康長寿課)

記号	名称
	【案】バイパス案(山側ルート)
	【比較案1】現道拡幅案
	【比較案2】現都市計画ルート
	行政界
	調査対象外とする市町村

